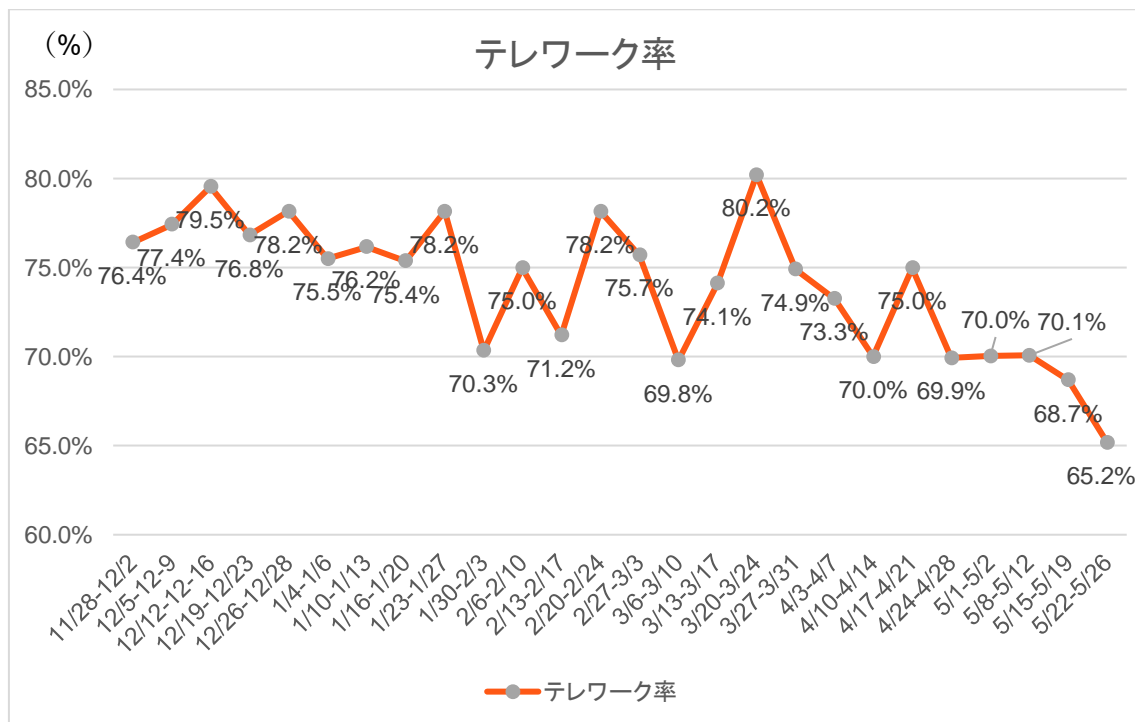


ジェットスター・ジャパン 在宅勤務(テレワーク)実施状況

ジェットスター・ジャパンでは、コロナ禍前より、働き方改革の一環で3割以上のモバイル勤務を推奨しています。また、新型コロナウイルス感染症の感染拡大を防止するため、在宅勤務も活用した柔軟な働き方の推進に取り組んでいます。

1. テレワークの推進に向けた取り組み

オンライン会議システムやオンラインコミュニケーションツールなどを活用し、テレワーク勤務が可能な社員を中心に在宅勤務を推進し、50%程度の実施率を目標にしています。現在のテレワーク率は以下の通りです。



※航空機の整備・運航・空港業務などオペレーションに携わる従業員を除いた間接部門(オフィス勤務者)のテレワーク率

2. その他感染拡大防止に向けた取り組み

テレワークの推進に加え、時差出勤・フレックスタイム勤務・ローテーション勤務などを実施しているほか、オフィスへの入室時には検温や手指の消毒、オフィス内では十分な換気を行い、感染防止に努めています。

以上